

令和5年度第1回日野町総合教育会議議事録

1. 日時：令和5年（2023年）7月25日（火）16時05分～17時30分
2. 場所：町立必佐小学校 会議室
3. 出席者
堀江和博日野町長
日野町教育委員会：安田寛次教育長、吉澤正義教育委員、
本居節子教育委員、吉澤松美教育委員
庶務：小島 勝企画振興課長、菊地智子企画振興課専門員
小椋慶洋必佐小学校長、澤村栄治教育次長、加納治夫生涯学習課長、長谷川毅図書館長、
柴田和英子ども支援課長、山中博嗣学校教育課主席参事、角 浩之学校教育課主任
4. 傍聴人 0人

開会 （企画振興課課長）

町長あいさつ

協議事項

「これからの学校教育施設の整備」について

【町長】

それでは協議事項に入らせていただきます。

これからの学校教育施設の整備についてということで、事務局からお願いします。

【角主任】

それでは本日のテーマといたしまして、これからの学校教育施設の整備ということで、今後の整備について話し合っていたかどうかという場ですが、まず必佐小学校を一度見ていただいた方が話もしやすいかと思いますので、一旦は施設の方を見てもらいたいと思いますので、校長先生、ご案内等をよろしくお願ひしたいと思います。ではお願ひいたします。

（約30分間 小椋校長から校舎やプールの現状説明、見学）

（見学後）

【角主任】

まずは学校施設の長寿命で出てくる背景ということで、公共施設についてはすべてにおいて長寿命化という方針で、施設を維持していくということがあります。町の教育施設については、昭和40年代から60年代に建築しているものが大半です。下の建築表がありますが、必佐小学校ですと昭和52年に校舎の方が作られておまして、一番古い施設はその次のページの上にあります中学校の体育館が昭和47年ということで、こちらがだいぶ古い施設というものです。町につきましては財政が厳し

い状況ですので、長寿命化計画というのを策定いたしまして、長い期間を使用するという方針で施設を維持していくためにこの計画を作って整備管理しているというところなんです。その次のページ、2ページ目ですが、こちら2番目の学校施設の目指すべき姿ということで、こちら(1)安全安心な学校施設ということで、まず当たり前ではありますが教育現場ですので、学校施設については、安全安心な学校施設というのが本来的なものであります。

またここ最近については防災上の避難所ということも、学校施設はその役目を担うということがありますので、やはり安全安心な施設ということで重要なものであるということなんです。

また(2)の方ですが、ICTの関係の機器を使用して教育をしていくということが昨今ですので、そのようなICT関係にも対応した施設を作っていくと、そういったことも考えながら施設の整備管理していく必要があるというところなんです。

また環境面の方に配慮をしまして、照明については、LED化など、そういったことをしていく必要があるということが書いてあるというところなんです。

そのなかで3ページ目ですが、こちらが長寿命化計画のときに確定をしております学校施設の老朽化の状況というところでして、右の方にABCと書いてあったと思うのですが、C判定というのがいくつかあるかと思えます。こちらの方が広範囲に低下しているという状況です。見ていただきますと、必佐小学校の部分で言いますと非常にCが多いというところがあるかと思えます。ということで、必佐小学校が日野町の小学校において一番早く整備をしていく必要があるという状況がわかるかと思えます。

次のページについては、長寿命化の方針というものがどういうものかですが、長寿命化するに当たりますと、一番上にある予防保全と機能改善というものがあります。

予防保全というのについては、損傷が軽微なうちに早期から改修と修繕等を行って長く使えるような、劣化がひどくなる場合に改修していくというものでして、また機能改善というものについては、今必要な機能を整備するために改修をしていくというものです。その表の方を見ていただきますと、従来型のパターンで言いますと大体四、五十年で改築をして、施設を新しくして、管理整備していくというのが従来型でしたが、長寿命化の方針が変わりますと、七、八十年で改築するということになりまして、その間半分くらいのところで長寿命化改修というのを実施して施設を長く維持管理していくということで、費用を抑えて整備していくというのが長寿命化計画の方針というところなんです。

その次のページは、長寿命化の実施計画というものです。こちらが長寿命化計画における学校施設の今後の整備計画というものでして、必佐小学校の部分を見ていただきますと、本来ですと2023年からこの計画上においては整備をしていくと、改修工事等をしていくということが計画上ですが、予算等の都合もありまして、そこまでは行ってないというところなんです。あとLED化の方を見ますと、2022年度に体育館の方をやるということになっておりますが、こちらについては今年度で小学校の体育館はすべて入れていただくということで今整備をしているところなんです。

最後の資料ですが、こちら1984年当時の広報の記事をつけさせてもらっているのですが、こちら中ほどを見ていただきますと、当時の日野町内の小学校で日野小学校と西大路、南比小学校が昭和の終わりから平成の初めに整備をしておりますと、その計画のことがここに書いてあるのですが、真ん中あたり「小学校整備は、日野小学校・南比都佐小学校・西大路小学校を順次改築していきます。比較的施設の新しい鎌掛小学校は、将来、地域の合意が得られるならば日野小学校に統合する方針」と

ということが書いてあると思います。こちら実際には、鎌掛小学校が統合されましたのが 2001 年の 3 月で確か閉校をしておりますので、もう 10 年以上前からこのような形で統合する方針を示して、施設の整備をしているというところがありますので、今後、町のこの施設についても早め早めに計画を準備して、施設を整備していく必要があるかというふうに思っているところです。

あと必佐小学校について見ていただきましたが、非常に老朽化が激しいという部分があります。まずこの必佐小学校整備ということを教育委員会では考えているのですが、先ほどの給食室の上の所の、防水シートの関係については非常に改修するのに費用がかかるものでして、ちょっと今後施設を整備するというのが一番早くあるというふうに思いますが、なかなか大きい金額を使って改修をしていいものかということもありますので、必佐小学校については、大きい修繕等に踏み込めない状況があるというところが現在のところです。

私からは以上です。

【町長】

では、先ほどの現場のことも踏まえまして、これらの教育施設等についてご意見ご質問等ありましたら、各委員さんからいただければと思います。

【教育次長】

この間、必佐地区の行政懇談会のなかにおいて各区長さんからのご要望の最重点要望として、やはり必佐小学校を早期に何とかしてほしいというお声はいただいております。

この 1984 年の広報ひので 2 億、4 億、6 億など書いてありますが、今この間、安土小学校が新たに建て替えるという話があり、その新聞を見ていたら 30 億ということで、かなりの金額がいるということで、この時代のような形ですべてうまくいくとは状況的には厳しいかと思うのですが、かといって必佐小学校をこのままにしておくというのはどうかなというのが教育委員会事務局の思いとしては持っております、そういう意味から今日は必佐小学校の方に来ていただいて現状把握し、またこれを教育委員会のなかで議論をいただけたらという思いでございます。

【町長】

これは、C 判定の数値のものは、日野中体育館ももう一つなのですか。

【角主任】

32 番の日野中体育館も、C 判定が多いという状況ではあります。

【町長】

プール付属室はプールのことですか。

【角主任】

プールの、更衣室などがある小さい建物のことです。

【町長】

プールとは別なのですか。

【角主任】

プールとは別です。

【町長】

プールは入っているのですか。

【角主任】

プールはここには入っていません。建物としてここは上がっています。

プールについても、どこの小学校も老朽化が激しい状況でして、今見ていただいたら、改修が必要な部分は多くあるというところですよ。

【町長】

まず、ご地元でもある、本居委員さん。何かあれば。

【本居委員】

私は必佐地区ですが、上の子が小学校に入ったときから下の子が卒業するまで必佐小学校へ通わせていただきました。保護者としては、参観に来るときは学習棟の方が多いので、なかなか今見させていただいたこちらの部分というのは、もう卒業してからというか、こういう役をさせていただいて見せていただくことが多かったのも、もうこんな状態なのかと。

子どもたちからも聞いていたのですが、下の子が在籍しているときは、クーラーが壊れて、夏場の暑い時期に学習するにも暑い教室の中しかなかったのも、涼しい教室を求めてぐるぐると回っていたということもあったので、毎日どこの教室に行くかということも、やはりちゃんと学習が始まる時間にその場所へ行くことがスムーズにいかなかったりということもあったので、そういう学習に差し支えてくることになると、そこはちょっと問題かということもありますし、もちろん壁の状態を見ると、環境的にも衛生的にもやはりいい状態ではないと感じますので、早急に対応していただきたいのと、私もこうして必佐小学校だけでなく他の学校も見させていただくようになって、どうしても廊下の狭さというのはすごく他の学校と違うということも実感しまして、子どもたちは学習によっていろいろな荷物がありますし、今、教科書、必要なものを持って帰ったりしますが、ランドセルが重いということもあって置いて帰ることもあるのです。やはり荷物の置き場所なども、だんだんいろいろな場所へ移動していて、もう廊下に置くもの、ロッカーに置くものなど、本当にいろいろなものがたくさんあるので、そういったものも最初は整理されているけれど、だんだんとあちこちに移動させるうちに物がなくなってしまったとか、誰かが間違っって持って帰ったとか、そういったことをよく聞いていたので、もう少し物が置ける場所が整えられると、自由に整理して、クラスの人数というのはそれなりにいますし、子どもたちの教室もどうしても机がある状態ですので、何かもう少しゆったりとした教室や廊下のなかで学習できるということも、学習環境のなかで必要なのかなというのは感じています。

【町長】

ありがとうございました。

校長先生、今、学習に差し支えがある話だったと思うのですが、クーラーのことばかり、先の水道のことばかり、何か他に何かそういう事例などあったりするのですか。

【小椋校長】

クーラーは一時的な故障だったのだらうと思うのですが…。一番は廊下が狭いというのはかなり大きいと思います。荷物を置く場所は本当にはないですし、これは特に、日野小、西大路小、南比小とは完全に構造が違うので。そして、桜谷は、立派に改修されて、もうちょっと広いですよ。狭くて雑然とすると子どもの生活も落ち着きのなさに繋がってしまうところがありますね。それと、直接学習に支障があるということはないですけど、台風のとくに窓の建て付けが緩いので雨が吹き込むなど、そういうことはありますが、今のところ雨風もしのげていますし、エアコンも順調に動いています。

【町長】

私は知らないのですが教えていただきたいのですが、教育はソフトの面で語られることが多いと思うのですが、そのソフトの面にこういう設備でなければならない、というような、ハードはどう位置づけられていますか。子どもの学習におけるハードの位置づけは何かあるのですか。

【小椋校長】

教室の明るさ、広さなど、そういうのはあります。

【町長】

最低基準が。

【小椋校長】

それが満たされているかなど、それから例えば、プールの水質や水道の水質をきちんと検査してもらっているか、そして、部屋の明るさと、二酸化炭素濃度、そういうようなものは定期的に測定してもらっています。他は、廊下の幅がこれだけじゃないといけないとか、それはあまり聞いたことはないのですが…。危険かというとなんなことはありません。ただし、過ごしやすい環境かという、やはりそうでないところがいくつか気になるという感じです。

【町長】

確かに狭さは感じますね。

【小椋校長】

廊下などは暗いですし。1階の廊下はすごく暗く風通しが悪いです。

【町長】

ありがとうございました。

では、吉澤正義委員さん、お願いできますでしょうか。

【吉澤正義委員】

私が感じましたのは、お金があればどれだけでもというふうにはまず思うのですが、しかし、雨漏りや、あるいは手洗いの水道が出ないところもあるなど、そういうところは私個人としては、緊急的なものなので対応していただかなければ、というような気持ちでいます。

それとプールですね。やはりプールサイドが割れて、セメントが薄いので割れやすいと思うのですが、それが割れていて、足を引っかける。プールの入り口を入ったら裸足であろうと思いますので、ああいう状態では足を怪我する子も出てくるのではないかと思うのです。

先日新聞を読んでいましたら、小学校の水泳の授業をスイミングスクールの方にバスで行って、そちらで、もちろん小学校の先生が引率して指導されるのですが、そのスクールスタッフも指導に入ってもらって、水泳の授業をしているというのが紹介してあったのです。小学校で水泳をやっても本当に1か月ほどのことですし、金銭的にも、新聞では、各小学校でやるより経費をかけずにやれるというようなことも書いていたのですけれど、私も初めてその新聞を読みましたので実際はどうか見たことがありませんので、効果的なのか、それから経費的にすごくやりやすいのか、その辺はわかりませんが、小学校の水泳授業のあり方として考えるときに、プールの管理、それから、プールの整備、水道など、色々な面で検討していくことがあった方がいいのではないかという思いを、この一つのことの背景に知りました。

しかし、雨漏りや水道が使えないところがあるなどは、早くやっていただかないといけないなど、私は感じています。

【町長】

ありがとうございます。

この1点目の、まず、雨漏りは、大規模的なものの前にそれだけピンポイントで早くした方がいいというものですか。

【吉澤正義委員】

はい。私が思ったのは、廊下が狭いなどの課題もありますが、校舎を建て直すのだったら問題ないと思うのですが、まだ当分の間、この校舎を使っていかなければならないということであれば、もう部分的な修理でしか仕方ないのではと思います。

【町長】

ありがとうございます。

そのプールの取り扱いというのは、私も先生がおっしゃるとおり思うところで、それぞれの小中高すべてがフルセットの設備という時代から大きく変わっているというのは思います。それを民間に目ぼしいところがあるのか。それとも町内で一つ法律の範囲内でどこかの小学校か中学校と一体的かわからないのですが、そういうのを整備をして…。

【吉澤正義委員】

大谷公園のプールはもう全然使えないのですね。

【町長】

今はもう使えないので撤去します。

ですので、先生のこれからのプールのあり方というのは非常に重要な部分かと私も思います。何かその部分でありますか。

【小椋校長】

よろしいですか。バスでの移動となると、プールには着替える時間も必要ですし、45分の授業のためだけに移動するというのはなかなか厳しいので、2時間扱いで授業を計画しても、現実泳げるのが40分ぐらいとか、そういう感じになろうと思います。

2校で一つのプールを共有するなど、そういうやり方はあるのかもしれませんが、今大体、どの学年も、この1学期の終わりだけで10時間ちょっとくらい水泳の指導時間を確保しているのですが、おそらくそういうやり方をすると、水泳をさせてあげられる時間は半分くらいに減ってしまうだろうと思われまます。

【町長】

それは、指導要領のなかでこれだけ確保しなさいとかあるのですか。

【小椋校長】

水泳の時間の確保は厳密には決まっていなかったと思います。ただし、各学年のねらいが決まっていますので、そのねらいを達成しようとする、とおおよそ10時間強は必要になってきます。

【町長】

ありがとうございました。

では、吉澤松美委員さん、お願いできますでしょうか。

【吉澤松美委員】

今日は見学させていただいてありがとうございました。

また、いろんな箇所を見せていただきまして、大変な状況のなかで、校長先生をはじめ、先生方にいろいろご苦労願っていることを知りまして、本当に頭が下がる思いです。

私がこんなことを言えるものではないのかもしれませんが、やはりお金の使い方が大事だと思います。限られた町の予算の中ですので、町長はいろんなところに目配りしながらやっていただかなければならないかと思いますが、町長も人育てといいますが、それに力を入れておられると思いますので、ぜひ総論として教育関係にお金の面でも力を注いでいただけたらなと思っております。

私は小学校などを見せてもらう機会も少ないので、細かいこととか、専門的なことを申し上げられませんが、子どもたちが、特に小学校だと6年間本当に大事な時期を過ごすわけですから、先ほども

お話がありましたように、安全安心はもちろんのことですが、やはり情操を育てる面でも、子どもたちがその学校に誇りを持てるような環境を作ってやっていただきたいなと思っています。

そういう中で、私もかつて公立と言いますか、県立の学校に勤めていたこともありますので反省も込めて言いますと、何と言いますか、最初新しいのをポンと作るとか、校舎をポンと建て替えるというときには、莫大なお金が投入されますし、すごくいいものを作ってくさっていると思うのです。ただし、その後メンテナンスと言いますか、最初の段階にこの機能を作ってしっかりさせるというように、その後もきちんとメンテナンスができていくかというところ、なかなか公の施設はそういう面で、ちょっと十分じゃないところがあったのではないかなというように思っています。

ですから、そういうところにもお金の面も含めて、気配り、目配りをしていただくと、また耐用年数はもっと伸びていくのかなというところもあって、そういう観点も必要かなという思いをしています。

あと、これも私の勝手な感想になるのですが、私は少し前まで某短大の方で、高校を回って学生募集をする仕事をしておりまして、滋賀県内をはじめ近隣の県にも行ったりして、いろんな高校自体も見せてもらっていたのです。そして、やはり私立の高校はですね、当然学生、高校生を集めるということもあるのしょうから、学校を綺麗にしておられます。

それに対して、県立高校はちょっともうお話にもならないようなこともありましてね。ですから、やはりお金のかけ方が違うところもあるのかなと思います。

本当に私学は綺麗にしておかれます。訪問させてもらって、「廊下、綺麗にしておられますね。」と言うと「いやいや」と言っておられましたけど、本当に綺麗にしておられるというところが、大抵の私学はそうでした。

それに対して、恥ずかしながら、県立学校はそういうところは少ないですね。そういうことがありましたので、また違う観点でものを見るのも大事なかなと思いました。

また同じ町内の子どもたちとしても、やはり例えば日野小学校のように廊下が広くて、広い空間のなかで勉強させてもらっている子どもと、逆に廊下の狭い学校で勉強している子どもたち、これもある意味仕方ないところもあるのですが、できるだけ同じような公平な環境で勉強ができるようにしてやってもらえるといいかなと思っています。

先ほど廊下が狭いとおっしゃっておられましたけれども、先ほどちょっと職員室を見ていってくださいとおっしゃっておられましたので、少し覗かせていただいたのですが、職員室も確かに狭いといいますが、意外に職員室ってこんなに狭かったのかと、小学校の職員室は覗くことがなかったので、小学生の頃に先生に呼ばれて行ったことしか記憶がないのですが、今それこそ高齢者になってから見せてもらいますと、こんなに狭かったのかなという印象もありまして。職員室ももっと広がったら、先生方もまた教育活動をもっと伸び伸びできるのかなと思ったりもしました。

【町長】

ありがとうございます。

おっしゃるとおり、本当にメンテナンスというのはおろそかになってしまいがちです。建てたらそれでホッとするものです。本当に水回りの件なども早い段階でやっておけば、こういうことにはなっていなかったでしょうし、中長期的に見ると、先生のおっしゃるとおりだと思いますし、安全安心と

いうところはもうそのとおりですね。一番こういうハードの施設において欠かせない重要な部分だと思えます。

お時間があるのですけれども、何かその他皆さんのなかであれば。館長どうですか。

【図書館長】

老朽化がひどいというところもあるんですけど、私はやはり図書のこと、図書室が児童の規模数から考えると非常に狭いので、何かこれをどうにかできないかと考えていたりします。どうしても本の数が入らない、棚が入れられないということで、そうすると文科省の基準で図書標準が達成できないというのがあるので、どうしてもそれは文科省の基準が、学級数に対して必要な本の数っていうのが決まっているので、これをどうにかできないかなと思います。おそらくこれは学校司書も含めて悩んでいるところです。

【町長】

確かにそんな広くないですね。

【小椋校長】

狭いし暗いです。

【町長】

教室一つ分ぐらいの。

【小椋校長】

はい。それぐらいでしたね。

例えば、この部屋がメディアルームみたいになって本が置いてあったりすると一番良いんですけど、ここは普段は会議室で、以前はコンピュータ室として使っていました。

【町長】

やはり作った当初は全体的に何かサイズが…。

【教育長】

以前は図書室は別の教室でした。今は特別支援教室になったので、もうちょっと部屋の的には大きかったです。図書標準に合致したスペースはスペースだったのです。支援学級を移動した、それを使わざるをえないようになってしまいました。

【小椋校長】

保健室も前はこの部屋の隣の部屋だったそうです。ですから、当初の使い方と変わっている部屋が多くなっています。2階に職員室というのも珍しいです。

【町長】

珍しいですね。確かに職員室は狭い。狭いですよね、あの職員室。

【小椋校長】

こういうふうにして机と机の間を、体を横に向けてすれ違えます。

【町長】

きちきちで先生の机がありますよね。大変密ですね。

【小椋校長】

すれ違えないですね。

【教育長】

スタッフの数が昔から比べると増えてきたことはありますし。

【小椋校長】

そうですね。それもあります。

【町長】

確かに廊下も狭い。物とかどうしておられるのですか。いろんな工作物とか作るではないですか。

【小椋校長】

そのときは多目的室にこの会議机を立ててあるのですが、あれを廊下にさらに並べて置くので、廊下の幅がまた狭くなります。廊下の幅が3分の2ぐらいになります。教室の後ろも、もう置けるのは限度があるので。

【町長】

スペースがなくなりますよね。

【小椋校長】

絵の具セットや習字セットを洗ったら廊下に新聞を敷いて並べます。

あっちが悪いですこっちが悪いですとそんな話ばかり申し上げましたけれど、学校の前の歩道や環境なども綺麗にさせていただいて、子どもたちの安全の確保とか、そういった部分では大変ご配慮いただいて、ここは環境としてはとてもありがたいことだと思っております。

【町長】

あと1週間前に寄せてもらったときに聞いた、サンライズの子どものさんの通学バスでの変化についてお話を。

【小椋校長】

はい。バスを運行していただくのには皆さんのご努力とたくさんの方々の経費がかかっていることと思います。私自身、本校の卒業生であり、平成 17 年から 4 年間学級担任を、平成 26 年から 3 年間教頭をさせていただいて、今校長 2 年目となります。その折々の子どもたちの状況、特に教員として見てきた子どもたちの状況と、今の子どもたちの状況を比べると、湖南サンライズの子供たちが、あの長い通学距離を歩くことで、朝からイライラして、喧嘩しながら来るとか、ストレスを抱えてくるという状況が本当になくなっていて、去年今年とバスを動かさせていただいて、子どもたちが本当に穏やかで、笑顔で朝、通学してくるようになりました。

小御門のバス停で降りてもらって、だいたい学年はバスを降りてからきちんと 1 列に並んでちゃんと歩いてきて、8 時 20 分始業ですが、始業 10 分前にはもう全校児童の 99% ぐらいの子が校舎の中に入っています。

それから、地域の方々が校門に立ってあいさつ運動を続けてくださるのですが、「おはようございます」と子どもたちの方からすごく元気に挨拶をしてくれるし、子どもたちの精神的体力的なゆとりというか、そういうのがすごく出てきて、大変ありがたいことだなと感じています。

【町長】

余力がある。

【小椋校長】

はい。子ども同士のトラブルも激減しました。サンライズの子供たちが全体的に落ち着いて過ごせると、全校児童のほぼ半分ですので、ものすごい影響力があります。彼らの良さが学校の明るい雰囲気として現れているので、本当にありがたいなと思っています。

この間も、蒲生ロジスティックさんの社長さんのところに、1 学期が終わりましたので「子どもたちが迷惑をかけていませんか。」とごあいさつにうかがったのですが、「何もしてないけど子どもたちがとにかく安全に行っていてくれたらそれが一番ありがたいね。」というお言葉をいただきました。可能な限り、バスの運行を続けていただけたら学校としてはとても嬉しいです。

【町長】

ありがとうございます。良かったですね。

【本居委員】

本当にそれはすごく強く感じます。本当に先生におっしゃっていただいたように、保護者の方も、やはり子どもたちが登下校で何か起こすんじゃないかっていうのが本当に毎日不安でしたし、夕方、学校かどこから電話が鳴ると、やはり登下校のトラブルであったり、ということになりますし、実際、登下校中でなくても、学校に着いてからやはり本当に、今特にこんな暑いなか朝約 3 キロぐらいの距離を、家が遠い子だと 4 キロぐらいありますので、そうすると、こんなふうに朝からもう 30 度を出るような日に歩いていると、それだけでもう体力全部使ってしまう。高学年はそれでもちょっとずつ強くなっていますが、本当に 1、2 年生の子はもう授業を受けられる状態ではなかったので、学

習に向かう子どもたちの姿勢というのは本当にこれは大きく変わったなっていうのは、最初の1か月試験期間でやっていただいたときだけでもすごく感じていたので、これは本当に年間通してですと、もう本当にありがたいということで良いお話をしていただけたということで、皆さん本当に感謝しています。

ただ、いろんなところからやはり「サンライズだけ良いな」という話が、大人が聞く分には大人同士の話し合いの中で、こういうふうだと事情が話せるのですが、子どもたちのなかにはサンライズだけずるいなと直接言われて、ちょっと子どもたちがどうしてかなと…。

【町長】

小さいときに思っていました。

私は歩いて30分くらいの距離だったのでまだ許容範囲でした。1時間はちょっと長いですね。

【本居委員】

そこも親御さんが上手に説明していただけたらいいかなと思うのですが、そういった面でちょっと心配があるわけですが、本当にありがとうございます。

【町長】

保護者の皆さんにも、先生方にも助けていただいていることなので。

【小椋校長】

毎朝バスの出発地点には2人、小御門のバス停には1人、必ず保護者が当番で立っていただきますし、バスに時々乗ってきてくださったり、すごく協力してくださっていて、それがあってこそ成り立っていますね。

【町長】

そういう意味では本当にハードの整備というか、前提条件の、環境整備の子どもに与える影響というのは、我々が思っている以上にすごい影響があるものでしょう。

【小椋校長】

廊下の幅よりずっと影響が大きいです。

【教育次長】

廊下の幅のほうも大事にしていかないと。

【町長】

ということで長時間にもなり、これくらいにさせていただきたいと思います。最後に教育長、まとめのご意見をお願いします。

【教育長】

サンライズにバスは、まず本居さんが本当に0（ゼロ）を1（イチ）にしてくださるっていう仕掛けをいろいろとしてくださって、本当に大変だったと思います。ありがとうございます。

予算的にはちょっとまた財政の方と協議しながらになるのですが、また続けられるとよいなと思っております。

本当に言われたように、子どもたちが本当に穏やかに登校してくるようになったと思います。週に1回ぐらいしか実際に来られていないのですが、朝出会うと、目つき厳しくどこの人かという感じで挨拶を返してくれていたのが、挨拶してくれるようになり、コミュニケーションも朗らかな表情で来てくれるので大変嬉しいことだなと。

そういうところで、現場の先生はじめ、地域の皆さんにも本当にお世話になって、ありがとうございます。

また、校舎環境のもたらす影響というのも多分にありますよね。本当に強く思います。そういう意味で、やはり町内全体でやはり公平な教育状況を作らなければいけないと思います。桜谷に行くと同じように大規模改修しているので、とても綺麗です。

そしてやはり、綺麗な学校には綺麗にしているような要因があると思うのです。県内のいろんな小学校を見ましたが大津の小学校に行ったときに、もっと古い木造の校舎でしたが、その当時の校長先生が、福井でやっておられる、もう黙って掃除するというような動きを取り入れられたんですよ。そうすると本当に黙って黙々と掃除をしている。やはり子どもが、古い学校だけど、その学校に誇りを持っていました。僕たちの学校を綺麗にしようというふうに思うということがやはりとても大事かと思えます。

【町長】

もうお時間でございます。本当に施設について、様々な観点からご意見いただきましてありがとうございます。以上でよろしいですか。

では、以上をもちまして総合教育会議を閉じさせていただきたいと思えます。

皆さんどうもありがとうございました。

【一同】

ありがとうございました。